

令和7年度進捗評価シート
奈良市歴史的風致維持向上計画第2期（令和7年3月21日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 史跡興福寺旧境内保存修理事業	3
2 氷室神社舞殿(拝殿)整備事業	4
3 旧細田家住宅整備事業	5
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)	6
5 奈良市空き家・町家バンク事業	7
6 文化財調査事業	8
7 奈良市無電柱化推進計画事業(市道三条線)	9
8 歴史的風致形成建造物保存整備事業(修理事業)	10
9 奈良のシカ保護育成事業	11
10 伝統的建築文化継承事業	12
11 なら工芸館活用事業	13
12 伝統祭礼・行事助成事業	14
13 奈良大茶会珠光茶会開催事業	15
14 なら国際映画祭開催支援事業	16
15 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	17
16 奈良市世界遺産学習事業	18
17 入江泰吉旧居活用事業	19
18 奈良町にぎわいの家活用事業	20
19 観光案内板・名所解説板等整備事業	21
20 文化財解説板整備事業	22
21 奈良市ならまち格子の家活用事業	23
22 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)	24
23 文化財講座開催事業	25
24 奈良町見知り開催事業	26
25 観光情報発信事業	27
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定	28
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全	29
3 文化財の防災	30
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	31
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	32
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 「観光の振興」に向けた官民協働の取組	33
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	34

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度
計画の実施・推進体制		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

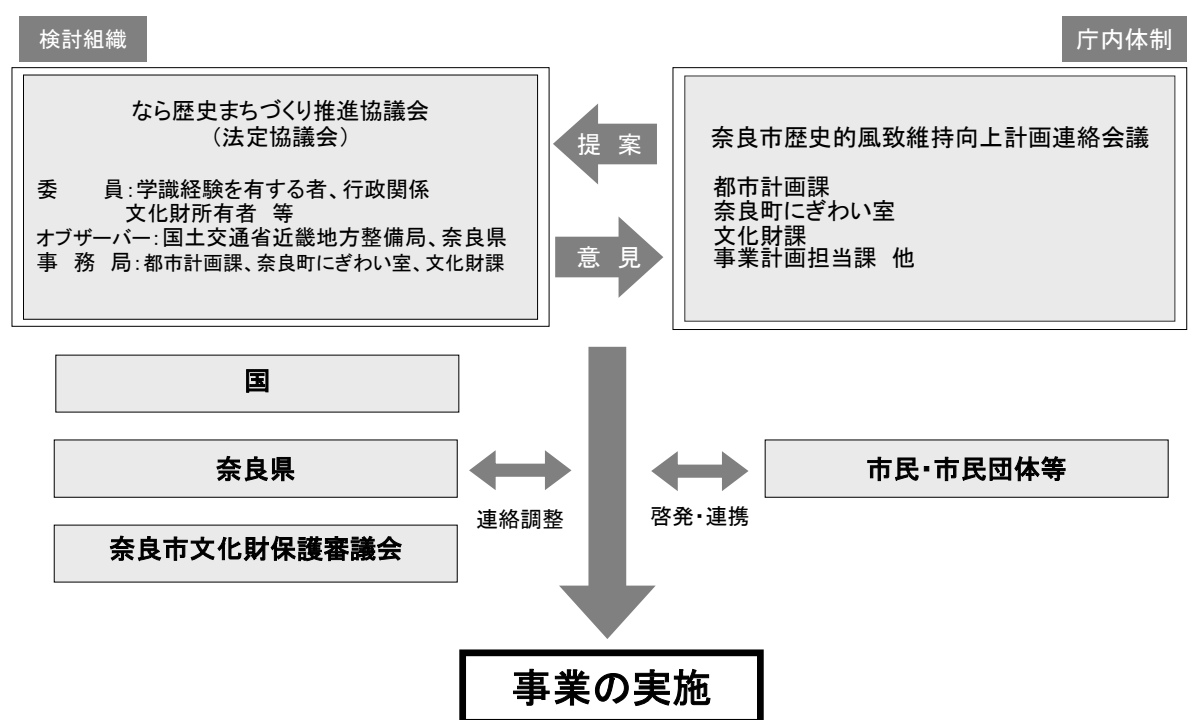
計画に記載している内容 景観まちづくりの担当部局である都市整備部都市計画課、観光担当部局である観光経済部観光戦略課奈良町にぎわい室、文化財保護担当部局である教育部文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、令和8年2月5日に「第18回なら歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



●第18回なら歴史まちづくり推進協議会
(令和8年2月5日撮影)

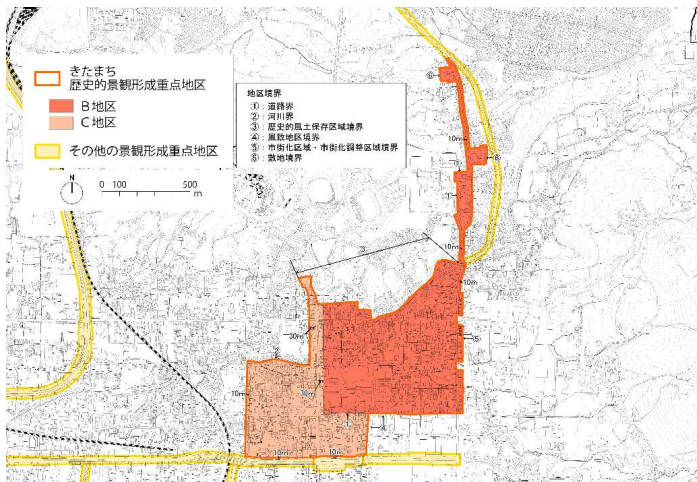
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和7年度
景観計画			現在の状況
<p>奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。</p>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>平成22年に策定された奈良市景観計画は、平成28年に眺望景観の保全や歴史的な町並みの保存・保全を目的のため改正を行った。さらに、令和4年には、大規模な建築物による景観の阻害や歴史的な町並み質感の低下などの課題に対応するため、よりきめ細やかな地域区分や基準設定を中心に計画内容の見直し、改正を行った。今年度は、その計画の景観形成基準をもとに調和を図るよう指導を行った。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区

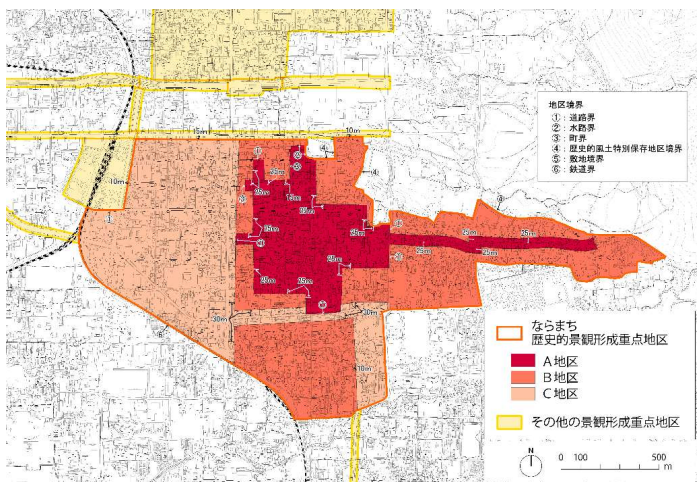


●奈良市を代表する眺望景観



大池からの眺望

●ならまち歴史的景観形成重点地区



平城宮跡からの眺望

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
史跡興福寺旧境内保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成 10 年度(1998)～令和 25 年度(2043)

支援事業名 支援事業(国宝重要文化財等保存整備費補助金)、県単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)

計画に記載している内容 興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行うほか、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付。
令和7年度は南大門東西の築地の修理工事を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備については、史跡整備検討委員会に諮り、現状変更等許可申請を文化庁に申請し、実施方法・史跡の影響などについて協議を行っている。
--	--

状況を示す写真や資料等



●東側築地修理工事
令和8年2月12日撮影

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
氷室神社舞殿(拝殿)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和8年度(2026)～令和11年度(2029)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	奈良市指定文化財氷室神社舞殿(拝殿)の屋根・軒等の修理と耐震補強を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
旧細田家住宅整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度(2029)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	奈良県指定有形文化財旧細田家住宅の屋根葺替等の修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 令和7年度

項目	現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成6年度(1994)～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)平成23年度(2011)～
市単独事業 平成6年度(1994)～

計画に記載している内容 奈良町都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は1件実施した。また、補助金の応募者が修景内容について地域で活躍する建築士等から意見を聴取しより良い内容で修景できる制度を整えている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●令和7年度補助実績 1件

	所在地	用途	内容	補助額(円)	補助率
1	芝突抜町	塀	工作物の外観修景	557,000	50%

●令和7年度 意見聴取事例(令和8年度実施事業分) 2件
※修理事業分含む

●事例(令和7年度実施)



【修景前】 令和6年8月19日撮影



【修景後】 令和8年3月11日撮影

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度																		
項目		現在の状況																			
奈良市空き家・町家バンク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																			
事業期間	平成23年度(2011)～																				
支援事業名	市単独事業																				
計画に記載している内容	町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の引き合わせを行う。																				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																					
当該事業は平成23年に開始され平成27年からは「奈良市空き家・町家バンク」として運営してきた。「町家バンク」を奈良町にぎわい課が、「空き家バンク」を住宅課が管理運営していたが、業務の効率化から令和4年度より空き家バンクと町家バンクの登録業務及びホームページの運営を住宅課が行っている。それにより、バンクの利用者登録について空き家、町家の区別を無くしたため、利用者登録数は「奈良市空き家・町家バンク」の利用者数となっている。 令和7年4月から令和8年3月まで利用者登録数は138件、町家バンク物件登録件数は1件となっている。																					
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																				
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	利用者登録数は一定数確保できているが、物件登録者が確保できていないという課題がある。課題について、観光戦略課奈良町にぎわい室と連携し進めていく。																				
状況を示す写真や資料等																					
<p>●町家バンクの登録状況</p> <p>※件数は平成23年7月～の累計数 () 内は令和7年4月～令和8年3月の累計</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>登録物件数</td> <td>45件 (1件)</td> </tr> <tr> <td>利用登録者数</td> <td>827件 (138件)</td> </tr> <tr> <td>成約数</td> <td>23件 (1件)</td> </tr> </table> <p>※再登録を含む</p> <p>●成約物件の活用事例</p> <p>※件数は平成23年7月～の累計数 () 内は令和7年4月～令和8年3月の累計</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>住居</td> <td>3件 (0件)</td> </tr> <tr> <td>店舗</td> <td>11件 (0件)</td> </tr> <tr> <td>ゲストハウス</td> <td>3件 (0件)</td> </tr> <tr> <td>カルチャー教室</td> <td>3件 (0件)</td> </tr> <tr> <td>工房</td> <td>1件 (0件)</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>2件 (1件)</td> </tr> </table>				登録物件数	45件 (1件)	利用登録者数	827件 (138件)	成約数	23件 (1件)	住居	3件 (0件)	店舗	11件 (0件)	ゲストハウス	3件 (0件)	カルチャー教室	3件 (0件)	工房	1件 (0件)	不明	2件 (1件)
登録物件数	45件 (1件)																				
利用登録者数	827件 (138件)																				
成約数	23件 (1件)																				
住居	3件 (0件)																				
店舗	11件 (0件)																				
ゲストハウス	3件 (0件)																				
カルチャー教室	3件 (0件)																				
工房	1件 (0件)																				
不明	2件 (1件)																				

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
文化財調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 歴史資料調査 平成8年度(1996)～、近世近代建造物調査 平成 24 年度(2012)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<歴史資料調査>大宮家文書の調査を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●大宮家文書調査
令和8年1月14日撮影

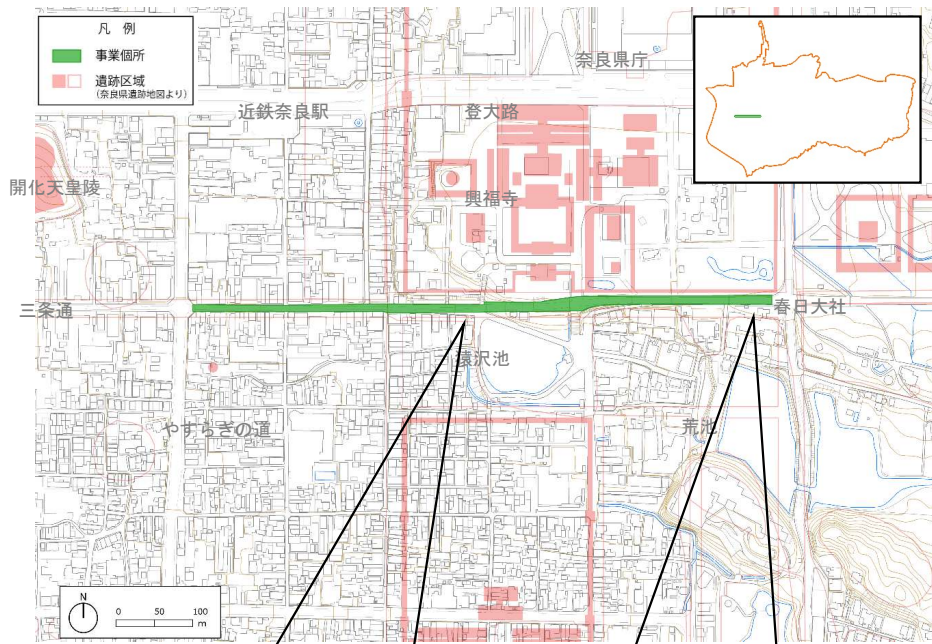
評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
奈良市無電柱化推進計画事業(市道三条線)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	無電柱化推進計画事業補助制度(市道三条線)		
計画に記載している内容	三条通の上三条町から登大路町までの区間(延長約800m)の電線類の地中化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に、無電柱化の推進に関する法律に基づき「奈良市無電柱化推進計画」を策定し、市内で優先的に無電柱化に取り組む箇所の考え方や推進方策などをとりまとめた。			
令和6年度より、同計画に位置付けられた市道三条線の無電柱化事業について、特に猿沢池西側から一の鳥居前までの整備に向けて、関係機関等との協議を進め、令和8年度に無電柱化工事に着手予定。			
進捗状況	※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●三条線電線位置図(緑着色部分)



猿沢池西側 : 令和8年1月7日撮影



一の鳥居前 : 令和8年1月7日撮影

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業(修理事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成 27 年度(2015)～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 奈良町及び奈良公園地区内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。奈良町都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題であり、その課題に戦略的に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は7件の助成を行った。
 内訳は利用中の物件が4件、修理を実施し今後利用する予定の未利用物件が3件である。
 修理事業の実施により、歴史的風致形成建造物の維持が図られるとともに、利活用が促進された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

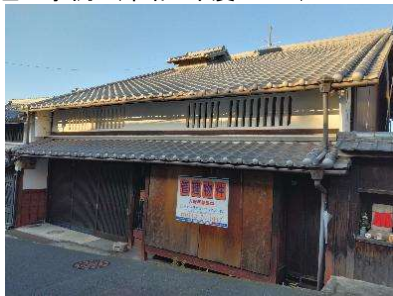
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●令和7年度補助実績

	所在地	用途		内容	補助額(円)	補助率
		事業前	事業後			
1	高畑町	店舗	店舗	現状維持修理	5,992,000	80%
2	高畑町	住宅	住宅	現状維持修理	167,000	80%
3	鳴川町	空家	店舗	現状維持修理、復原修理	7,955,000	80%
4	鍋屋町	住宅兼店舗	住宅兼店舗	復原修理	10,000,000	上限
5	西紀寺町	空家	住宅	復原修理	8,791,000	80%
6	芝辻町	住宅	住宅	現状維持修理	2,191,000	80%
7	紀寺町	空家	住宅	復原修理	10,000,000	上限

●修理工事例 (令和7年度 No.3)



【修理前】 令和7年1月30日撮影



【修理後】 令和7年12月10日撮影

●修理工事例 (令和7年度 No.4)



【修理前】 令和6年10月30日撮影



【修理後】 令和8年2月10日撮影

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
奈良のシカ保護育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年

支援事業名 県単独事業

計画に記載している内容

一般財団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角きりなどの伝統行事を行う。また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、奈良のシカの生態調査のため頭数調査を行った。負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

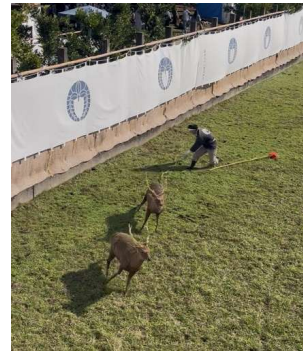
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 令和7年度「奈良のシカ」生息頭数調査
 - ・調査日時 令和7年7月15日・16日 午前5時30分～8時
 - ・調査地域奈良公園域内(図面参照)

- 奈良公園の鹿の総数1,465頭
(令和7年7月16日現在)
 - ①奈良公園内生息頭数
 - 総頭数 : 1,465頭 (前年比+140)
 - オス : 315頭 (前年比+2)
 - メス : 816頭 (前年比+18)
 - 子鹿 : 334頭 (前年比+120)
 - ②鹿苑内保護収容頭数
 - 総頭数 : 247頭 (前年比-21)
 - オス : 124頭 (前年比-14)
 - メス : 123頭 (前年比-7)

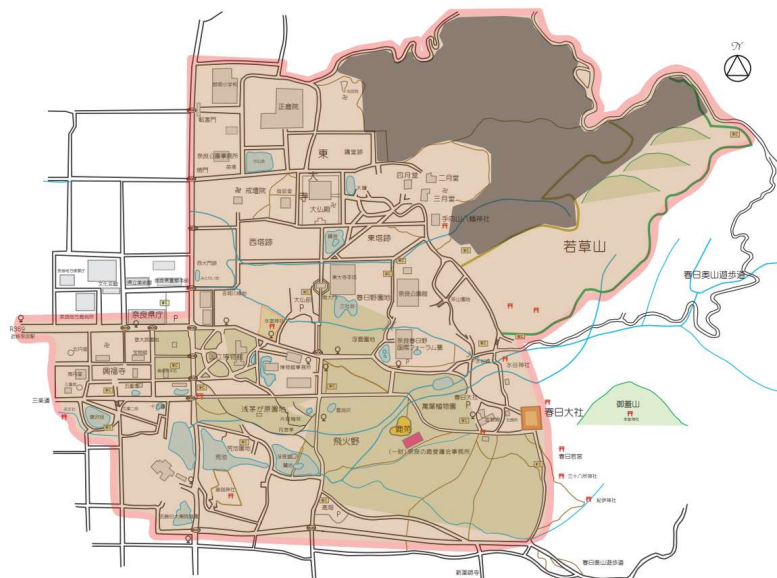


●鹿の角きり行事 令和7年11月撮影

参考資料

「奈良のシカ」頭数調査範囲

調査エリア (■を除く)



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

伝統的建築文化継承事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成 27 年度(2015)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良町地区等における伝統的建造物、指定文化財等などの歴史的文化資源及び人々の営みが醸成してきた歴史的風致や地域らしい景観を守り、後世に伝え継承するために現地講座や講演会等を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年9月21日に「高畑地域の文化的景観・現地講座」を開催し、一般参加者25名が参加した。本講座では、古くからの春日大社の社家、近代には志賀直哉が居住し、文化人等が集う高畑サロンが形成された場所としての旧居などを巡った。文化的景観の位置づけと奈良市内における文化的景観が成りうる地域や風土について、参加者の理解を深めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



高畑地域の文化的景観・現地講座

開催日：9月21日(日曜)

文化的景観を題材として、「大和の風景・景観を守り育てる運動」を実施します。2025年度は、①春日大社に隣接する高畑地域(9/21開催)及び、②法蓮寺周辺地域(10/5開催)の歴史文化や営みの中に継承されている文化的景観の検証を市民と共に学び、掛け替えない風景・景観を守り育てる活動とします。

高畑地域の文化的景観の検証・現地講座

高畑は、古くから春日大社の社家、禪意家の居住地域であり、藤間家住宅が禪意家の遺構として残されています。近代には志賀直哉が居住し、文化人や芸術家が集う高畑サロンが形成された場所として旧居が保存されており、ホーリス建築の旧栗屋部も残存しています。今回、高畑周辺の文化的景観・現地講座を大槻先生案内による市民ウォークと講演会として実施します。

日 時：2025年 9月 21日(日曜)13:00～16:40(雨天時：講演会・産部会のみ開催)
場 所：①心宗正門前～中村家住宅(旧足立家住宅)～志賀直哉旧居～浜田隆光旧居～新薬師寺金堂跡～鏡神社～新薬師寺～旧栗屋部～藤間家住宅～奈良高畑教会

行 程：①心宗正門前(道路)集合(13:00～13:30)(高畑町1184-1)
高畑界隈のウォーク(13:30～14:30)
講演会(14:40～15:40)奈良高畑教会(高畑町1330-3)
解散会(15:40～16:40)

講 師：大槻 旭彦 先生(郷土史家・奈良まほろばソムリエ)
内 容：高畑の文化的景観の検証・現地講座
定 員：申込先着25名(ウォーク時はワイヤレスマイクを使用)
交 渉：奈良交通観光バス隊、車の場合は奈良南宮高畑駐車場をご利用ください。
参加費：イベント保険料 50円/1人、志賀直哉旧居入場料は各自支払いをお願いします。

申込み：氏名、所属、電話番号、メールアドレスを下記へ
(公社)奈良まちづくりセンター事務局
☎ 0742-26-3476 FAX 0742-27-0969 Mail nmc@m4.kcn.ne.jp

主 催：(公社)奈良まちづくりセンター(風景・景観委員会)
共 催：①奈良市(都市計画課景観課)
後 援：奈良県、②高畑町
助 成：地域づくり団体活動支援事業助成金、奈良まちづくりセンターまちづくり基金

●高畑地域の文化的景観・現地講座の様子
令和7年9月21日撮影

●チラシ

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
なら工芸館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成 12 年度(2000)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良の工芸である奈良漆器、奈良一刀彫、赤膚焼、古楽面、奈良筆、奈良墨、奈良晒、奈良団扇の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の販売も行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は特別展として『日本伝統工芸展 in NARA 2025』、『奈良伝統工芸 進行する工芸』、『知られざる奈良一刀彫の始祖 岡野松壽』を開催。企画展として『ならすみきがたできるまで』等を開催し、奈良工芸のファン拡大、深化を目指した。「奈良工芸フェスティバル」では、制作実演を充実させ、館長による奈良一刀彫の実演では来館者のみならず作家の注目を集め、大いに賑わった。「ならまちわらべうたフェスタ2025」では、周辺施設との連携を深めワークショップの実施を通して伝統産業の振興に努めた。来館者は4万1千人を超え、販売コーナーの売上総額は1000万円を超える等工芸作家の販路としても結果を残せた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

若い世代からファミリー層の利用が増加傾向。外国人旅行者を含め、授乳室やお手洗いの利用が増加。トイレの洋式化が望まれる中、改修工事が実現すればユーザビリティもアップすると思われる。県外来館者や外国人中心に高額商品の販売も好調。

状況を示す写真や資料等

●なら工芸館

(参考)過去5年間の入館者数

令和 3年度 26,076人
 令和 4年度 33,843人
 令和 5年度 38,002人
 令和 6年度 41,427人
 令和 7年度 41,179人

●若手作家による制作実演の様子



令和7年5月撮影



令和7年9月撮影

●制作体験教室の様子



令和7年8月撮影

●こども工芸教室の様子



令和7年 7月撮影

●令和7年度の体験教室等の

- イベントの参加延べ人数
- ・体験教室(通年) 1230人
- ・こども工芸教室 38人
- ・工芸フェスティバル 一日体験教室 78人
- ・その他単発の工芸体験・943人イベント

●工芸フェスティバルの様子



令和7年10月撮影



●単発の講座・予約なしで参加できるイベントの様子



1日講座「大和絁を学ぶ・触れる講座」の様子 令和7年12月撮影



観光客も気軽に参加頂いた「奈良絵を描こう」の様子 令和7年 7月撮影



端午の節句にちなんだワークショップに参加する外国人観光客の様子 令和7年5月撮影

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統祭礼・行事助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭、若草山焼き等を行う団体に助成する。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>●春日若宮おん祭(奈良市観光協会より助成) 【主催】春日若宮おん祭保存会 令和7年12月15日:大宿所詣、御湯立、大宿所祭 令和7年12月16日:大和土宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭 令和7年12月17日:遷幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式、南大門交名の儀、松の下式、競馬、稚児流鎗馬、御旅所祭、還幸の儀 令和7年12月18日:奉納相撲、後宴能</p>			
			
<p>●薪御能(奈良市観光協会より助成) 【主催】薪御能保存会 令和7年5月16日:春日大社「咒師走りの儀」 興福寺「南大門の儀」 令和7年5月17日:春日大社「御社上りの儀」 興福寺「南大門の儀」</p>		<p>●薪御能 南大門の儀 令和7年5月撮影 写真:三上 文規</p>	
<p>●采女祭(奈良市観光協会より助成) 【主催】采女祭保存会 令和7年10月5日:宵宮祭 令和7年10月6日:例祭(花扇奉納行列・例祭「花扇奉納神事」・管絃船の儀)</p>			
			
<p>●采女祭 令和7年10月 撮影</p>		<p>●采女祭 令和7年10月 撮影</p>	

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
奈良大茶会珠光茶会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度(2013)～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の村田珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶に関するシンポジウムやエクスカージョンなども行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまで、ならまち地区で元興寺、奈良町にぎわいの家等でお茶席を開催し、来場者数は第一回(平成25年度)約5,900人、第二回(平成26年度)約7,400人、第三回(平成27年度)約9,400人、第四回(平成28年度)約8,400人、第五回(平成29年度)約8,300人、第六回(平成30年度)約6,700人であった。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全てのお茶席の開催を中止したが、お茶文化を発信するため過去の珠光茶会(社社会場)で配付した小冊子を再編集した『小冊子(総集編)』と若年層(小学生高学年及び中学生)向けの『茶道マンガ教材』を作成・配布した。令和3年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで実施を予定していたが、感染者数の再拡大に伴い、開催を中止した。 令和4年度は、感染症対策を講じ、感染状況を見極めつつ開催し約750人が来場、第十回を迎えた令和5年度は、特別茶席や子ども特別企画を開催し約1,500人が来場した。令和6年度は約1,900人が来場、令和7年度は5日間にわたり開催し、約1,850名が来場した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
◆令和2年度 小冊子・茶道マンガ教材作成(新型コロナ感染拡大防止のためお茶席は中止)			
			
過去の小冊子の総集編		若年層向け「茶道マンガ教材」	
◆令和3年度 第八回珠光茶会(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止) ◆令和4年度 第九回珠光茶会(感染症対策を講じ、約750人が来場) ◆令和5年度 第十回珠光茶会(特別茶席や子ども特別企画を開催し、約1,500人が来場) ◆令和6年度 第十一回珠光茶会(新たな会場の追加やツアーの造成を行い、約1,950人が来場)			
◆令和7年度 第十二回珠光茶会			
期間：令和8年2月7日(土)、8日(日)、11日(水・祝)、14日(土)、15日(日)			
会場：春日大社/東大寺/元興寺/大安寺/西大寺/唐招提寺/薬師寺/法華寺 奈良町にぎわいの家/八窓庵(奈良国立博物館内)/名勝大乘院庭園文化館/鹿の舟「繭」			
参加流派及び社中：表千家/裏千家/武者小路千家/遠州流/石州流/藪内流/宗徧流/吉川宗文社中 敬游会/奈良市茶華道連盟			
			
(参考) 第十二回珠光茶会 令和8年2月8日		(参考) 第十二回珠光茶会 令和8年2月15日	

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
なら国際映画祭開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	なら国際映画祭 平成 24 年度(2012)～、ならシネマテーク 平成 25 年度(2013)～		
支援事業名	市単独事業、芸術文化振興基金 令和2年度(2020)		
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、プロジェクションアートや新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。また、2年に一度の国際映画祭に加えて、文化的かつ芸術的な作品を鑑賞する定期的な機会と映画を通じた交流機会として、ならシネマテークを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は、来年行われる本祭のイベントとして、学生が主役となって創り上げる映画祭「なら国際映画祭 for Youth 2025」が9/21～9/23にわたって実施され、3日間でのべ531人が動員された。本祭については2年に1回の実施であり、次回開催予定は令和8年度である。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		今後も、公募により交付事業として選定された場合、補助金を交付する。奈良市心のふるさと応援寄附補助金については継続して交付する。	

状況を示す写真や資料等



なら国際映画祭 for Youth2025

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成 25 年度 (2013) ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かしながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写真賞及びならPHOTO CONTESTを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTは2年を1クールとして開催しており、前回の令和5年度(第5回)に引き続き、令和7年度に第6回を開催した。

継続して事業実施をすることで、奈良を代表する写真家・入江氏の功績を顕彰するとともに、本市の写真文化のさらなる発展に寄与する事業である。令和7年度は98点の応募作品の中から中古樹さんの「路傍の光」が選ばれた。また、なら PHOTO CONTESTの応募作品372点から、「なら賞」「日本経済新聞社賞」「特別賞」「入選」と受賞作品を決定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続実施するなかで、本賞への支援者をより増やすことのできる企画を検討・実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

●令和7年度実施の受賞作品



第7回入江泰吉記念写真賞受賞 中古樹「路傍の光」(82枚組)



第7回なら PHOTO CONTEST
なら賞受賞
笠井忠「若草山焼きの日」
(単写真)



第7回なら PHOTO CONTEST
日本経済新聞社賞受賞
日岡弓枝「春呼ぶ」(単写真)



第7回なら PHOTO CONTEST
特別賞受賞
薬丸冬哉「面会」(単写真)

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
奈良市世界遺産学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成 13 年度(2001)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
世界遺産学習は、市立学校の児童生徒が、世界遺産や地域遺産、伝統文化や自然環境等を通して、地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育み、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養う学習である。学習については、世界遺産の現地学習や地域人材をゲストティーチャーとして招いた授業、また、一人一台端末を活用した自治体を越えた学校間交流、博物館等とのオンライン中継授業、地元放送局と協働したVR体験授業なども行っている。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

現地学習については、すべての市立小学校において実施し、主に東大寺、春日大社、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡等といった世界遺産や地域遺産を見学することができた。学校間交流については、市立小学校5校が、屋久島町、大田市、京都市、田辺市とオンラインにて交流を行い、互いの地域の魅力や課題について発信し合うことができた。また、オンライン中継授業については、市立小学校1校、VR体験学習については、市立中学校1校で実施することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現地学習が遺産見学のみの受動的な活動となっている学校も見受けられるため、より主体的で探究的な現地学習となるよう各校の実施内容を把握し、指導助言を行う。学校間交流については、交流自治体及び交流校の拡大を進めていく。

状況を示す写真や資料等



現地学習



現地学習



学校間交流



VR体験学習

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
入江泰吉旧居活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成 26 年度(2014)～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成 27 年(2015)3月に開館した「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。タペの集い～蛍鑑賞イベント～、タイムトラベル奈良・入江泰吉等)や暗室の活用等の事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催。新型コロナウイルス感染拡大の脅威がなくなったこともあり、東大寺へ参拝する外国人観光客が激増、日本人も少しずつ増えてきている。講座参加についても復調への兆しが見られるが、まだまだ手ごたえはなく、SNSなどを使って入江旧居のPRを積極的に展開していかねばならないと思われる。 令和7年度は45件(指定38件/自主7件)の事業を実施し、延べ715人(指定670人/自主45人)の参加があった。また、入館者数は5,905人と前年に比べ、14.12%の減となり、感染症拡大前の数字には、至らない状態である。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		講座実施にあたっては参加人数の制限等の感染予防対策を行った。	

状況を示す写真や資料等

●講座風景



○万葉の花を訪ねて～柳編～
令和7年5月18日撮影



○入江泰吉さんぼみち～二月堂までの若緑
令和7年6月14日撮影



○タペの集い～蛍鑑賞～写真美術館出張・作品解説
令和7年6月13・14日



○入江泰吉と奈良ゆかりの人々
～志賀直哉編～ 令和7年7月20日撮影



○入江泰吉旧居で、はじめの一句
令和7年8月3日撮影



○発見！入江泰吉
令和7年9月14日撮影



八所御霊神社



秋篠寺本堂を巡る

○入江泰吉の目を歩く～西大寺と秋篠寺を巡る
令和8年2月21日



○伝統行事と入江泰吉～薬師寺花会式編～
令和8年3月1日撮影

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
奈良町にぎわいの家活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成 27 年度(2015)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするともに、奈良町観光の拠点のひとつとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開している。

令和7年度は、四季折々のしつらえ等を通じて町家の暮らしに関する理解を深めるとともに、講座や体験イベントを充実させ、施設の目的である奈良町文化の発信及び継承に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●入館者数の推移

来館者数	入館者数	うち外国人
令和3年度	30,992人	192人
令和4年度	58,628人	4,076人
令和5年度	65,269人	19,185人
令和6年度	67,838人	25,827人
令和7年度	72,391人	29,855人

●イベントの様子



書道体験
令和7年5月11日撮影



季節のしつらえ(正月)
令和8年1月4日撮影



生活文化体験(梅仕事)
令和7年6月23日撮影



小学生への町家解説
令和7年10月3日撮影

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
観光案内板・名所解説板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成 25 年度(2013)～

支援事業名 奈良県観光地域づくり推進補助金

計画に記載している内容 奈良市内の主要な観光エリアに観光案内板を整備する。設置する看板、記載内容は、できるだけ統一するとともに、奈良町の景観に配慮したデザインとし、指示標識の見直しも含め、回遊しやすい観光環境づくりを目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、観光案内板や歴史の道案内道標およびならまちエリアに設置されている道標の劣化が著しいことから、2基の観光案内板及び7基の道標を改修。

なお、平成25年度からの新規設置数(累計)は、昨年度から変わらず観光案内板21基、観光名所解説板26基、指示標識8基。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●令和7年度 観光案内板・観光名所解説板設置

No.	予定場所(施設名等)	種別
1	富雄元町二丁目、近鉄富雄駅南口	観光案内板
2	忍辱山町 柳生街道沿	
3	般若寺町 市営住宅西市道三叉路	道標
4	法華寺町 ウワナベ池南東	
5	佐紀町 磐之媛命陵北西	
6	佐紀町 佐紀神社入口	
7	佐紀町 佐紀神社北東	
8	佐紀町 御前池北方4叉路	
9	宝来一丁目 垂仁天皇陵北	

●観光名所解説板・指示標識改修事例



【撤去前】 令和7年12月16日撮影



【リニューアル後】 令和8年3月31日撮影

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財解説板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業(県文化資源活用補助金を活用)

計画に記載している内容 個々の設置場所の状況や文化財所有者の意向をふまえつつ、指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。設置する看板のデザイン等は統一的なものとするともに、奈良町の景観に配慮したデザインとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の指定文化財等の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図を添えた解説板を設置している。令和7年度には6基を製作し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は90基となる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●藤岡家住宅主屋解説板
令和8年3月19日撮影

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
奈良市ならまち格子の家活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度(2023)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良町の伝統的な町家を再現した施設であるという特色を生かし、時代とともに変化し失われつつあるかつての奈良町の人々の普段の暮らしに触れる機会を提供するとともに、人々の生活の息遣いを感じることができる展示やイベントを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良町の伝統的な町家を再現した観光施設。
令和7年度は、市民や国内外の観光客に伝統的な町家の暮らしに触れる機会を提供することで、生活や景観への意識の向上に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●入館者数の推移

来館者数	入館者数	うち外国人
令和3年度	28,155人	191人
令和4年度	57,678人	3,512人
令和5年度	68,377人	17,507人
令和6年度	27,845人	9,846人
令和7年度	50,641人	18,402人

※令和6年度は10月～2月末まで工事のため休館

●展示の様子



土間の天窓の開閉実演
令和7年11月2日撮影



夜の町家体験
令和7年10月6日撮影

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年(市単独事業)、平成28年度(2016)(集約促進景観・歴史的風致形成推進事業)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	主に宿泊観光客を対象として、夜に世界遺産元興寺禅室にて落語や講談などを鑑賞する等のイベントを実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、「世界遺産の夜元興寺寄席」として、令和6年度よりも定員を増やして実施した。今年度は東京の奈良まほろば館やJRおおさか東線等の駅へのチラシの配置、デジタルサイネージの活用等により県外からの誘客を図った。県外からの観客は3日間で34名であった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和7年度 世界遺産の夜元興寺寄席 実施状況

演目: 落語・講談

開催日時: 令和7年9月26日(金)~9月28日(日) 3日間

観客数: 280名



世界遺産の夜元興寺寄席 ポスター



寄席の様子(令和7年9月26日撮影)



寄席の様子(令和7年9月27日撮影)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
文化財講座開催事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

- 市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。
- 奈良の文化財が対象となるよう計画する。
- 指定・登録文化財を活用する。
- 成人向けの講座と、小学生とその保護者向けの講座を開催する。
- 内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2025」
- (1) 11月 2日「昔のくらし体験～かまどで新米を炊こう!～」 参加者19名
- (2) 11月16日「秋の赤膚焼 窯元探訪」 参加者56名
- (3) 11月29日「宮跡庭園と近隣の庭を巡り歩く」 参加者11名

進捗状況 ※計画年次との対応

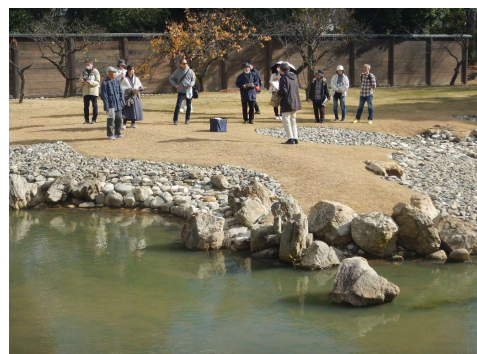
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●奈良市文化財講座
「昔のくらし体験～かまどで新米を炊こう!～」
令和7年11月2日撮影



●奈良市文化財講座
「秋の赤膚焼 窯元探訪」
令和7年11月16日撮影

●奈良市文化財講座
「宮跡庭園と近隣の庭を巡り歩く」
令和7年11月29日撮影

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
奈良町見知り開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度(2021)～
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 奈良町では、奈良時代の都市を基盤に、鎌倉時代から続く信仰、産業、生活文化が受け継がれ、近世には奈良見物が盛んになり、近代、現代と時代を紡ぎながら、人々を魅了する様々な歴史文化が育まれた。大社寺に限らず、古代に由来する多数の社寺、お地蔵さんや講、生業、会所や町家など、たくさんの魅力が集まっており、これらの地域の魅力をじっくり見て知ってもらうためのイベントを、所有者、地域のまちづくり団体、市が協働し開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度も前年に引き続き、実行委員会に地域のまちづくり団体だけでなく、個人、大学、学生団体が参画した。また、企画参加者やボランティアの形で多くの方がイベントに参画した。また、関係者が多岐にわたることから、横の連携を強化することを目的に、企画参加者(特別公開や特別イベントの実施者)やボランティアの交流会等をイベント前後に開催した。令和7年度のイベント参加者は3,277人であった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

奈良町見知り 開催期間: 令和7年11月3日(月・祝)～9日(日) 7日間



企画参加者・ボランティア交流会
 令和7年6月27日撮影



奈良町見知りふりかえり会
 令和7年12月19日撮影



イベントの様子 令和7年11月3日撮影



イベントの様子 令和7年11月8日撮影

奈良町見知り	年度別参加人数
令和3年度	1,889人
令和4年度	3,838人
令和5年度	3,066人
令和6年度	3,921人

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
観光情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和6年度(2024)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良市公式アプリ「SHIKA no ASHIATO」により、最新の奈良市の観光情報やお買い物情報等を届ける。特に、歴史的建造物や文化財のガイド散策ルート等の案内情報を入手することができ、地域の活性化や観光振興の魅力向上につなげる。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、観光情報やイベント情報の更新を行うとともに、スタンプラリーや夏のクーポンキャンペーン等を実施し、新規会員の獲得及び会員の利用促進に取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●R7イベント実施状況

イベント①			期間
ホトケ女史 安達えみさん監修 奈良国立博物館開館130年記念特別展「超 国宝-祈りのかがやき-」スタンプラリー			4/19(土)～6/15(日)
ダウンロード数	新規会員登録者数		
1150	AppStore 824	GooglePlay 326	634

イベント②			期間
～「SHIKA no ASHIATO」リリース1周年～ 奈良市観光大使 山本佳志さんおすすめスポットスタンプラリー			4/23(水)～8/31(日)
ダウンロード数	新規会員登録者数		
5650	AppStore 4490	GooglePlay 1160	3930

イベント③			期間
おでかけをちょこっとお得に！夏のクーポン祭 2025 ～最大600円相当のクーポン配布中！～			8/1(木)～9/30(火)
ダウンロード数	新規会員登録者数		
4601	AppStore 3700	GooglePlay 901	3315

イベント④			期間
奈良女子大学×SHIKA no ASHIATOコラボ きたまちスタンプラリー			10/17(金)～12/14(日)
ダウンロード数	新規会員登録者数		
2793	AppStore 1690	GooglePlay 1103	1984

イベント⑤			期間
学生団体ならのまど×SHIKA no ASHIATO コラボスタンプラリー			1/7(水)～1/28(水)
ダウンロード数	新規会員登録者数		
291	AppStore 141	GooglePlay 150	30

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 指定等文化財以外の文化財について、所在と内容を把握する調査を実施。調査成果に基づき、価値の高いものは市指定文化財に指定して保護を図る。指定による保護を補完するため、国に対する意見具申を通じて登録による保護を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・近世近代建造物調査、歴史資料調査(奈良文化財研究所との連携研究として大宮家文書調査)を実施。
 ・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、市指定文化財に4件を新たに指定した。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、当市から11件(2か所)について新たに意見具申し、それに基づき11件(2か所)の登録について文化審議会の答申がなされ、うち1件(1か所)が令和7年度中に登録された。引き続き、候補物件の調査等を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●大宮家文書調査
 令和8年1月14日撮影



●奈良市指定文化財 多聞城跡
 令和7年9月19日撮影

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全、など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 指定文化財の修理・整備事業の適切な実施を進める。
補助金を交付することで所有者負担を軽減し、文化財の価値の確実な保存・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-1参照。
名勝旧大乘院庭園の管理(荒廃防止)事業などに補助金交付。
国・県・市指定の建造物、記念物等の文化財(20件)と文化財保存公開施設(3か所)の管理(委託)。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



芝刈り前



芝刈り後

●名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業
令和7年6月23日撮影

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市民を対象に文化財愛護思想と防災意識の啓発を図る。
 文化財所有者と合同の消防訓練等を実施。
 指定文化財への自動火災報知設備、防犯設備などの設置や修理、点検に対して補助金を交付する。
 指定文化財建造物の耐震対策を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東大寺金堂(大仏殿)ほか22棟防災施設整備事業等に補助金を交付(建造物、美術工芸品の防災事業)。
 令和7年7月25日・11月27日、2か所で「文化財防火座談会」開催。
 令和8年1月28日、「文化財防火ゼミナール」開催。
 令和8年1月24日・2月2日、2か所で消防局と文化財所有者の合同の文化財防火訓練を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●文化財防火座談会(会場:元興寺)
 令和7年7月25日撮影

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の講座開催、解説板設置、展示、情報発信等。
 世界遺産や地域の文化財を通じた学習。
 指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付する。
 団体と適宜連携し、市民と行政が協働による文化財の保存・活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-20、③-23、③-16参照。
 奈良市文化財講座の(1)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催、(2)は市教育委員会と赤膚山元窯保存会の共催。旧細田家住宅活用プロジェクトは市教育委員会とNPO法人文化創造アルカの共催。
 令和7年度、文化財関係7団体に計920千円の文化財補助金を交付。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 文化財講座開催事業
評価軸③-23参照
- 文化財解説板整備事業
評価軸③-20参照
- 奈良市世界遺産学習事業
評価軸③-16参照
- 旧細田家住宅活用プロジェクト
 中秋の名月を楽しもう～ミニ講座「月にまつわるお話と天体観察」 10月 4日(土) 12人
 奈良町見知りでの特別企画「かまどの話と炊きたて朝ごはん」 11月 8日(土) 9人
 奈良町見知りでの特別公開 11月8日(土)～9日(日) 99人
 旧細田家できな粉雑煮を食べる会 2月21日(土) 15人
 奈良の茶がゆ、いただきます! 3月22日(日) 14人



●中秋の名月を楽しもう～ミニ講座
 「月にまつわるお話と天体観察」
 令和7年10月4日撮影



●奈良町見知りでの特別企画
 「かまどの話と炊きたて朝ごはん」
 令和7年11月8日撮影

進捗評価シート

(様式1-5)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

評価対象年度

令和7年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
河瀬直美監督「後進たちを育てたい」 奈良を舞台に若者に映画づくり教えるワークショップ	令和7年8月4日	産経新聞
奈良で世界の若手映画集結「なら国際映画祭 for YOUTH 2025」開催へ	令和7年9月19日	CREATIVE VILLAGE
「映画で自信がついた！」【なら国際映画祭 for YOUTH】10代が主役の感動体験	令和7年9月26日	MONOLAB
「ユースの息吹感じる」なら国際映画祭シグネチャー館で2作品 - 河瀬監督 万博で対話体験1500回超	令和7年10月9日	奈良新聞
入江泰吉写真賞、大賞に中古樹さん「路傍の光」	令和7年11月10日	日本経済新聞
入江泰吉写真賞 茨城の中古さん	令和7年11月25日	読売新聞
第6回入江泰吉記念写真賞 日常拾った「路傍の光」 茨城の中古樹さん受賞	令和7年12月5日	毎日新聞
「日本伝統工芸展近畿展 IN NARA」なら工芸館で日本の美意識を再発見	令和7年5月18日	タウン情報誌パープル
個性にじむ奈良墨の裏側—奈良 木型など展示や実演	令和7年10月19日	読売新聞
ゆうドキッ！奈良工芸フェスティバル開催告知	令和7年10月	奈良テレビ
2025年10月25日から26日まで奈良工芸フェスティバル開催	令和7年10月6日	奈良新聞デジタル
『るるぶ特別編集 みん芸』奈良県みんなでたのしむ大芸術祭（奈良工芸フェスティバル紹介）	令和7年8月22日	株式会社JTB「るるぶ特別編集みん芸」
学びとつながる修学旅行ガイド 奈良編「奈良の文化と工芸にふれる旅」	令和7年11月	汐文社（書籍）
万博を契機にしたオープンファクトリー情報冊子「伝統の技に触れる奈良の文化体験旅」	令和7年10月	奈良県オープンファクトリー情報冊子
奈良とお茶をめぐる今昔話	令和7年10月	「祈りの回廊」奈良県
NHKならナビ「いくなら！」コーナー 特別展「知られざる奈良一刀彫の始祖 岡野松壽」紹介	令和7年11月7日	NHK奈良
歴代松壽郎と雅の技 奈良一刀彫の祖—工芸館 一二代武者人形など40点展示	令和7年12月20日	読売新聞
奈良晒 手織りの魅力 ホテル日航奈良 麻巻機など展示（一なら工芸館PRと奈良晒の展示）	令和7年12月31日	読売新聞
奈良の伝統工芸を発信する展示コーナーを開設、ホテル日航奈良 麻織物「奈良晒」をPR	令和8年1月1日	産経新聞 WEB
「国内特集・奈良と大和郡山で春の旅」(なら工芸館と赤膚焼及び販売コーナー作品の紹介)	令和8年2月配布	JCB会員情報誌「JCB THEPREMIUM」
「奈良伝統工芸の真髄に触れる—なら工芸館」(なら工芸館と奈良工芸の紹介)	令和8年1月1日	イオンファイナンスサービス会報誌『MOM』株式会社朝日新聞出版
奈良・橿原の善行寺と奈良市の旧和田家住宅を登録文化財に 文化審議会が答申	令和7年11月22日	産経新聞
元興寺の文化財 住民と防火意識高めて守る 奈良市消防局など座談会	令和7年8月3日	朝日新聞
飛び火で屋根に被害、崇道天皇社で「防火座談会」 奈良市消防局主催	令和7年12月14日	朝日新聞
無人駅再びまちな顔、演奏会や喫茶店など住民交流の場に…全国で半数超え4776駅	令和7年11月11日	読売新聞
まちで切り取った一瞬、短歌を添えて 天理大生ら古民家で作品展示	令和8年3月18日	朝日新聞
願い込め「ヨイショ」 奈良町にぎわいの家で餅つき	令和8年1月13日	奈良新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良市歴史的風致維持向上計画に基づき実施する事業について、多数報道されており、報道を通じて、歴史的風致への関心や認識が高まるなどの効果がある。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

※ 報道等に関する資料は、権利等の関係により掲載なし

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目 評価対象年度 令和7年度

「観光の振興」に向けた官民協働の取組

計画に記載している内容 「ならまち賑わい構想」(平成4年策定)、「新奈良町にぎわい構想」(平成29年策定)を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

「ならまちわらべうたフェスタ」は、毎年10月第3日曜日にならまちの各会場でわらべうたをベースにした催しを中心に行う秋の恒例イベントの一つで、令和7年で33回目を迎えた。
また、地域の歴史的建造物を活用し地域住民やNPO団体との協働により運営されるまちかど観光案内所3か所は、地域と観光客の交流の場となっている。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

●わらべうたフェスタ

「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学民連携による実行委員会形式で開催している。
例年、約30の団体が、ならまちの様々な施設でわらべうたに関連する遊びのイベントを実施している。
令和7年は10月19日(日)に、ならまちセンターをメイン会場とし、ならまち界隈で開催した(約 25,000人参加)。



●ならまちわらべうたフェスタ2025 開催の様子
令和7年10月19日撮影

●まちかど案内所

地域住民による歴史的建造物の保存と利活用の要望により、地域の歴史観光資源として、官民が連携し地域住民等が運営するまちかど観光案内所を開設している。

・旧鍋屋交番きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)
元旧奈良警察署鍋屋連絡所(明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転)を修理し、きたまちの玄関口として、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点として活用し、近代建築を巡るツアーやきたまちエリアを題材にしたスケッチ・フォト大会、正倉院に関する講座など地域に根差したイベントも実施している。



●旧鍋屋交番きたまち案内所
(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)

・奈良市きたまち転害門観光案内所

元南都銀行手貝支店だった建物を修理し、地域のまちづくり団体、ボランティアにより、観光案内のみならず地域の歴史を紹介するパネル展やコンサートなど地域の活性化などに活用している。



●奈良市きたまち転害門観光案内所

・京終駅観光案内所

JRの駅舎(明治31年建築)を改修し、地域のまちづくり団体により、地域住民と観光客の交流の場とすべく、駅の待合所と地域の観光案内所やカフェが併設した施設として活用し、駅ピアノの設置や駅前広場でのイルミネーションなどの事業を実施している。



●奈良市京終駅観光案内所



●駅前広場でのイルミネーション
(令和7年12月20日撮影)

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第18回 なら歴史まちづくり推進協議会	
会議等の 開催日時: 令和8年2月5日(木曜日)午前10時～	
(コメントの概要)	
<p>1. 観光客誘致事業において、宿泊者数の増加につなげるためには、夜のイベントだけではなく朝のイベントも効果的です。そのことについて各社寺等に協力を呼び掛けていますか。</p> <p>2. 文化財講座開催事業(③-23)は奈良町見知ル開催事業(③-24)と開催日が近いので、連携すれば相乗効果があるのではないのでしょうか。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>1. 宿泊客の増加につながる施策として、夜間の周遊イベントの他、朝の集客イベントの必要性についても認識しております。今後は奈良町の関係各所にも協力を仰ぎつつ検討してまいりたい。</p> <p>2. 文化財講座は、近年、奈良町から離れた場所にある文化財の見学を主としているため、別途日程を設定しています。なお、奈良町の県指定有形文化財旧細田家住宅(奈良市所有)では、文化財課とNPOが協働し、講師を招いたイベントや建物内部の一般公開を奈良町見知ルにあわせて実施しています。このように連携できる催しは相乗効果が期待できるため、今後も取組を進めてまいります。</p>	